

## 2010年度品質月間を実施

### ベストプラクティスの実施 ～一人ひとりの知恵と経験と力～

記者各位

当社(社長:木村 康)は、従業員の品質意識の高揚を目的として、1968年より毎年11月を品質月間と定め、グループ会社および協力会社とともに品質向上活動に取り組んでおります。

JX日鉱日石エネルギー発足後第1回目となる今年度は、「ベストプラクティスの実践 ～一人ひとりの知恵と経験と力～」をテーマに、本日11月1日(月)から11月30日(火)の1ヶ月間、『「EARTH※」を胸に みんなで築こう新生ENEOS品質』のスローガンのもと、下記のとおり取り組みを実施しますのでお知らせいたします。

※JXグループ行動指針: E<sup>t</sup>hics、A<sup>d</sup>vanced、R<sup>e</sup>lationship、I<sup>r</sup>ustworthy、H<sup>a</sup>rmonyの頭文字をとり、EARTH-5つの価値観としています。

記

#### 1. 社長メッセージの発信

本日、社長よりグループ会社および協力会社の従業員に向けて、以下のメッセージを発信し、品質月間への真摯な取り組みを呼びかけました。

中期経営計画のキーワードである「ベストプラクティス」を品質の面においても実践していくためには、私たち一人ひとりが知恵を絞り、経験を活かし、力を発揮していくことが不可欠であることから、今年度のテーマを「ベストプラクティスの実践 ～一人ひとりの知恵と経験と力～」とした。

石油業界において、石油製品の内需減退、設備能力過剰という構造的な問題をかかえている中で、当社は経営統合を実現し、単独ではできない抜本的な問題解決に取り組もうとしているが、これはお客様からの支持があって初めて実現するものである。「信頼の商品・サービス」を提供することで、新生「ENEOSブランド」がお客様から一層の信頼を得られるよう邁進し、CS(顧客満足)を高めていこう。

#### 2. 品質月間期間中の活動企画

##### (1) 啓発用ポスターの掲示

品質月間期間中、テーマおよびスローガンを記載した啓発用ポスターを当社、グループ会社および協力会社の各事業所に掲示します。

##### (2) 当社各事業所、グループ会社および協力会社ごとの独自活動

業務改善活動事例の発表会、国内外の法規制に関する勉強会、作業現場における日常業務の再点検、緊急時対応訓練、参加活動単位毎のスローガン募集等、工夫を凝らした独自の取り組みを実施します。

##### (3) 特別企画の実施

今年度はJX日鉱日石エネルギー発足後初めての品質月間となることから、以下の事項を実施します。

###### ① 品質月間特別講演会

社外より講師をお招きして、「企業経営における品質保証の役割」と題する講演会を開催します。

###### ② 品質インタビュー

当社経営幹部への品質に係る取り組みや思いについてのインタビュー記事を、イントラネット等を利用して社内へ配信します。

###### ③ 「品質川柳」の募集

当社およびグループ会社の従業員から作品を募集し、応募作品の中から優秀作品等を選出します。

以上

#### ● 別添資料

 2010年度品質月間ポスター (PDF:226.2 KB/1ページ)

